
コンクリートサステナビリティに関するシンポジウムVI —激動する時代の本質を見る— —参加募集—

主催：公益社団法人 日本コンクリート工学会

後援（予定）：土木学会、日本建築学会、日本建設業連合会、建設コンサル
タ
ンツ協会、プレストレストコンクリート工学会、全国生コンク
リ
ート工業組合連合会、コンクリート用化学混和剤協会、骨材
資
源工学会、セメント協会、全国コンクリート製品協会、鉄鋼
ス
ラグ協会、日本鉱業協会、日本コンクリート診断士会、日本
フ
ライアッシュ協会

開催日：2018年3月13日（火）

2012年4月19日、JCIのサステナビリティ委員会（当時委員長：堺孝司／現委員長：野口貴文）における検討に基づいて、コンクリート関連7団体が「コンクリートサステナビリティ宣言」を発表しました。そのキーワードは、安全性、天然資源とCO₂、資源循環、環境保護、長寿命化、国際展開、および人材育成です。つまり、社会と業界のサステナビリティのためには、これらを明確に認識し、必要な対応をすることが必要と考えたわけですが、しかし、激動する時代にこれらの本質を捉えて具体的に行動を起こすのは容易ではありません。

コンクリートサステナビリティ宣言の際、そのフォローアップのためにフォーラム（議長：堺孝司）を設置しました（フォーラム構成メンバーは現在10団体）。これまでフォーラムとして講習会や5回に及ぶシンポジウムを開催してコンクリート・建設業界とサステナビリティ思考について議論を行ってきました。

近年、社会経済基盤を構築してきたコンクリート・建設産業を取り巻く環境は激変しています。米国のカリフォルニアでは低炭素建設材料の利用を求める法案が提出されました。COP23も開催されました。つまり、旧来の技術・システムの変革が求められているわけです。今回のサステナビリティフォーラムシンポジウムVIでは、フォーラムの活動報告と講演3題からなります。講演では、コンクリート構造物の設計コード開発と気候変動対応の海外における先端動向、及び木質ハイブリッド造ビルの実現についてご紹介し、これらがコンクリート・建設産業にとって何を意味するのかを探るためのパネルディスカッションを行います。

日本のコンクリート分野は、ある時期まで海外情報をどん欲に学習し、世界をリードする独自の展開を生み出すに至りましたが、最近では時代の新しいニーズ対応という点で明らかに停滞しています。こうした事態を放置するとガラパゴス化に陥ることになりかねません。いつの時代も問題の本質は情報過疎にあります。本シンポジウムでは、時代を見据えるための様々な先端情報を提供してきました。今回も、コンクリート・建設分野のエンジニアの皆様へ新しい思考材料を提供し、今後の活動に資することを指向していますので、奮ってご参加ください。

記

1. 開催日時：2018年3月13日（火）13:00～17:00

2. 開催場所：東京大学 情報学環・福武ホール（東京都文京区本郷7-3-1）

3. プログラム（予定）：

(1) 開会挨拶

13:00～13:15

堺 孝司（サステナビリティフォーラム議長）

(2) コンクリートサステナビリティフォーラム報告

13:15～13:45

野口貴文（サステナビリティフォーラム幹事）

(3) 講演1

13：45～14：20 コンクリート構造物の設計コード開発のフロント 堀 孝司（上掲）

(4) 講演 2

14：20～15：10 世界の気候変動対策の先端動向と SBT

- ・企業の先進的取組 松尾雄介（財団法人・地球環境戦略研究機関）
- ・中国セメント業界の低炭素技術の進展 劉 憲兵（財団法人・地球環境戦略研究機関）

15：10～15：20 <休 憩>

(5) 講演 3

15：20～16：10 7階建木質ハイブリット造ビルは、今後社会に何をもたらすか？

八木 敦司（株式会社 スタジオ・クハラ・ヤギ）

(6) パネルディスカッション

16：10～16：55

コーディネイター：堀 孝司（前掲）

パネラー：講演者（前掲）

(5) 閉会挨拶

16：55～17：00

野口貴文（前掲）

（内容および時間は、都合により変更することがありますので、あらかじめご了承ください。）

4. 参 加 費：消費税込み、配布資料含む。

正 会 員（個人）	4,000 円
団体会員 ^{※1} ・後援団体 ^{※2・3・4}	5,000 円
会 員 外	6,000 円
学生会員 ^{※5}	3,000 円
学生会員外 ^{※5}	3,000 円

※1 本学会団体会員の役員・職員

※2 後援団体の個人会員および役員・職員

※3 セメント協会加盟会社の役員・社員および同協会の役員・職員

※4 全国生コンクリート工業組合連合会、各地生コンクリート工業組合およびその組合員会社の役員・職員

※5 学生の方は学生証のコピーを申込み時に必ず同封してください。

5. 申 込 方 法：

1) 参加費を郵便局備付けの払込取扱票にて下記口座へ払い込みください（払込手数料は申込者にてご負担願います）。

振替口座番号：00180-1-293008（加入者名：公益社団法人日本コンクリート工学会）

* 通信欄に報告会名・参加者氏名を必ず明記してください。

* 納入された参加費は、定員に達しお断りした時以外はお返しいたしませんので、あらかじめご了承ください。

2) 本号綴込みの参加申込書に必要事項を記入のうえ、前記 1) で郵便局から発行される払込受領証のコピーを貼付し、送付先を明記した 82 円切手貼付の返信用封筒を同封し、下記申込先へ郵送してください。折り返し同封の返信用封筒により参加証をお送りします。

6. 申 込 締 切：定員（200 名）になり次第、締め切らせていただきますので、お早めにお申し込みください。

7. 申 込 先：〒102-0083 東京都千代田区麹町 1-7 相互半蔵門ビル 12F

公益社団法人 日本コンクリート工学会 「サステナビリティシンポ」係（担当：平石）

TEL：03-3263-7204/FAX：03-3263-2115

E-mail：hiraishi@jci-net.or.jp

コンクリートサステナビリティに関するシンポジウムVI -激動する時代の本質を見る-
-参加申込書-

申込者	氏名				
	勤務先				
	同上所在地 (または連絡先)				
	郵便番号	〒	電話番号	()	
(1)受付番号	(2)参加者氏名	(3)勤務先/部署	(4)連絡先	(5)会員・会員外の別	
			TEL	<input type="checkbox"/> JCI 正会員 (No.) <input type="checkbox"/> 団体会員・後援団体 JCI 団体会員 (No.) 所属後援団体名 () <input type="checkbox"/> JCI 学生会員 (No.) <input type="checkbox"/> 学生会員外 <input type="checkbox"/> 会 員 外	
			E-mail		
			TEL	<input type="checkbox"/> JCI 正会員 (No.) <input type="checkbox"/> 団体会員・後援団体 JCI 団体会員 (No.) 所属後援団体名 () <input type="checkbox"/> JCI 学生会員 (No.) <input type="checkbox"/> 学生会員外 <input type="checkbox"/> 会 員 外	
			E-mail		

- (注) 1. (1) 欄は記入しないでください。(2) 欄は申込者と同一の場合も記入してください。
 2. (5) 欄は該当する箇所にを記入してください。
 ・ JCI 正会員 (個人)・団体会員の場合は、かっこ内に会員番号を必ず記入してください。
 ・ JCI 団体会員の一覧はHPに掲載してあります。必ず確認のうえ申込みください。
 ・ 後援団体の所属として申込みの場合は、所属後援団体名を必ず記入してください。
 ・ 学生の方は学生証のコピーを必ず同封してください。
 3. 参加費は郵便局備付けの払込取扱票にて下記口座へ払い込みください(払込手数料は申込者にてご負担願います)。
 お申込みは本用紙に払込受領証のコピーを貼付し、送付先を明記した 82 円切手貼付の返信用封筒を同封し、下記申込先へ郵送してください。折り返し同封の返信用封筒により参加証をお送りします。
 振替口座番号：00180-1-293008 (加入者名：公益社団法人日本コンクリート工学会)
 ※通信欄に報告会名(会場名など)および参加者氏名を必ずご記入ください。
 申 込 先：〒102-0083 東京都千代田区麹町 1-7 相互半蔵門ビル 12F 公益社団法人日本コンクリート工学会
 4. 納入された参加費は、定員に達しお断りした時以外はお返しいたしませんので、あらかじめご了承ください。

[送金内訳]

JCI 正会員	_____名	×	@	4,000円	=	_____円
JCI 名誉会員・終身会員・フェロー会員 ^{※1}	_____名	×	@	3,000円	=	_____円
団体会員・後援団体	_____名	×	@	5,000円	=	_____円
会 員 外	_____名	×	@	6,000円	=	_____円
JCI 学生会員	_____名	×	@	3,000円	=	_____円
学生会員外	_____名	×	@	3,000円	=	_____円
合計送金額						_____円

※1 JCI の名誉会員・終身会員・フェロー会員の方は、事前申し込みに限り学生会員の参加費と同額が適用されます。必ず会員証のコピーを同封してください。

払込受領証 (コピー) 添付

*通信欄に報告会名(会場名など)および参加者氏名をご記入ください。